



帝京平成大学  
オープンキャンパス

# 薬学部

楽しく学ぼう！

2021 09 05

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

# 薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

- ◆ 薬学科のご説明 (是非ご参加ください) (3階 303教室)  
9:10~9:30 13:10~13:30
- ◆ 模擬授業 (3階 303教室)  
9:30~9:50 13:30~13:50
- ◆ くすりの正しい使い方 (薬育) (4階 SGDルーム 436)  
「映像や写真で見る薬学生ができる薬育・薬物乱用防止教育」  
9:00~12:00 13:00~16:00
- ◆ オープンラボ (3階 315研究室)  
「有機化学の実験室を覗いてみよう」  
9:00~12:00 13:00~16:00
- ◆ 学生交流・進学相談 (3階 304教室)  
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」  
9:00~12:00 13:00~16:00

**その他 (全学部共通)** 9:00~12:00 13:00~16:00

個別相談 (入学者選抜・奨学制度)

(1階 食堂)

個別相談 (就職)

(1階 就職支援室)

メディアライブラリーセンター見学

(8階 図書館)

入学者選抜説明

10:00~10:30 11:30~12:00 (2階 225教室)

14:00~14:30 15:30~16:00

面接対策講座

10:00~10:30 11:30~12:00 (4階 442教室)

14:00~14:30 15:30~16:00

キャンパスツアー

9:30~12:00 (11:30最終受付) (1階 103教室)

13:30~16:00 (15:30最終受付)



## 模擬授業

( 9:30-9:50 13:30-13:50 )  
303教室 (3階)

### 10年後の薬剤師を考える

みなさんが薬剤師になって活躍する10年後の薬剤師の役割はどのように変化しているのでしょうか。AIやロボットに仕事を奪われてしまうのでしょうか？今回は、一つの事例を通じて薬剤師の仕事について考えてみたいと思います。AI時代に薬剤師がすべき事はなんなのか。今後の数年間（きっと永遠に）薬剤師業務に必要な事をお話致します。



助教 吉田 貴行

薬局機能評価学ユニット

城西大学薬学部薬学科卒業後、保険薬局薬剤師を経て、大学教員へ。現在帝京平成大学薬学部にてセミナー科目と実務系実習を担当しています。

薬剤師の業務は、急速に変化しています。臨床現場でその変化を感じてきた薬剤師のお話を是非、聞きに来てください！

## くすりの正しい使い方（薬育）

映像や写真で見る薬学生ができる薬育・薬物乱用防止教育

会場：SGDルーム（4階 436）

9:00～12:00 13:00～16:00（見学は自由です）

医薬品医療機器等法のなかで、国民の役割として、「国民は、医薬品等を適正に使用するとともに、これらの有効性及び安全性に関する知識と理解を深めるように努めなければならない。」との条文があることはご存知ですか。

くすりは正しく使用しなくてはなりません。また薬がどうして効くのかが分かると、薬物乱用の恐ろしさが分かります。薬学生が、小・中学校や、地域のイベントで薬育及び薬物乱用防止教育を行っている様子を、映像や、写真でご覧ください。

### 薬学生が、中学生に薬育・薬物乱用防止教育を行っている様子



### 薬学生が、小学生に薬育を行っている様子



### 担当教員

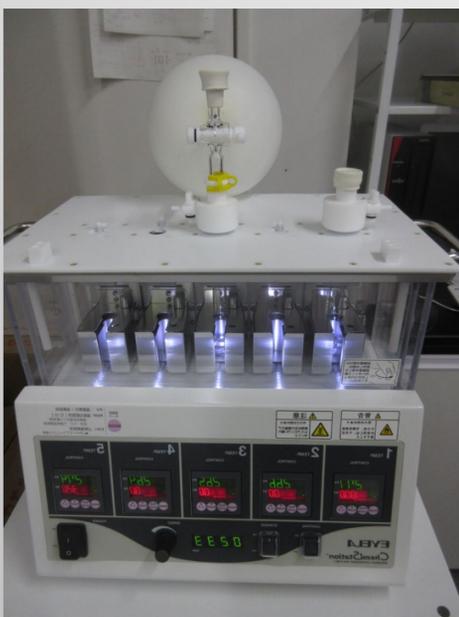
社会薬学教育研究センター  
渡邊伸一、小原道子

# オープンラボ

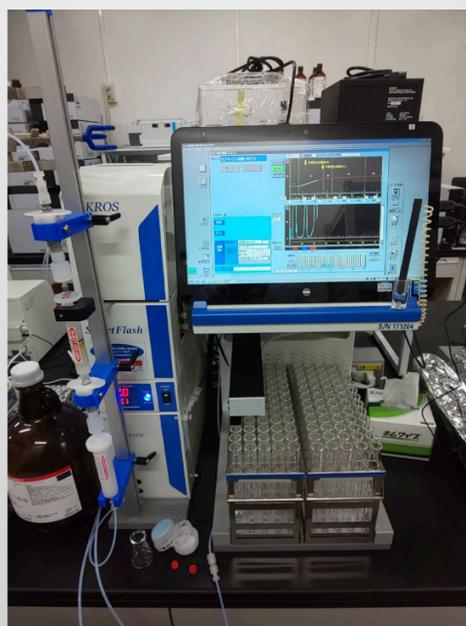
薬学のラボを体験しよう！！  
有機化学の実験室を覗いてみよう

会場・時間  
専門ラボ1 (3階 315)  
9:00~12:00 13:00 ~16:00  
(見学随時)

- 医薬品の多くは分子量が数百程度の有機化合物で、いずれも有機合成や天然物探索の手法によって見つかってきました。
- また、医薬品の薬理作用の理解のためにも、有機化学を基盤とした分子レベルでの知見は欠かせません。
- 私達は、医薬品の候補となりうる薬理活性物質を有機合成の手法を用いて探索したり、それらの合成法の研究を行っています。
- 今回のオープンラボでは、有機化学実験でよく使用される、①有機合成反応装置、②クロマトグラフィーによる有機化合物の分離装置など、普段の私達の研究現場をご覧ください。



有機合成反応装置  
同時に5つの化学反応を  
実施できる優れたもの



中圧分取クロマト装置  
混合物から化合物を  
分け取るための装置



核磁気共鳴装置 (NMR)  
有機化合物の構造を決定する  
のにはなくてはならない装置  
(本装置は別室となります)

担当教員 医薬有機化学ユニット  
小松 俊哉 赤木 祐介